

陽平だより

天理教陽平分教会
出雲市平田町7638
0853-63-2806

山ほど聞いておけ、聞かしておけ

子どもの頃。祖母や母から天理の話などをたくさん聞かされました。「話は山ほど聞いておけ。聞かせておけ」と教えられます。今、私の場合は毎月の教会の月次祭や講習会で何度もお話を聞く機会があります。天理教に限らず一般の先生方のお話に、そのつど教えられ、「なるほど」とうなずき、「そうだった」と思い起こすことも度々です。

聞いた時は一応覚えていますがいつしか忘れてしまっています。忘れるまでの時間も年々早まってきているのを実感しています。でも若い時に聞いた話は、今でもよく覚えています。

日々に役に立つ話、時に役立つ話、緊急時に役立つ話、一生に一回役立つ話。

話の内容によっては普段は必要なくても、聞いてさえおけば、その場に遭遇したときに思い出すことも多くあると思います。たとえば、杉の葉には消毒の作用がある。山でキャンプするときなどに、水の流れる小さな溝を掘り、そこに杉の葉を入れて水をため、あふれた山水で手を洗ったり、洗い物などしたり、時には飲み水にすることもあります。

神戸の震災から 20 年。救援活動の中で被災された人に聞くと、最初に欲しかったものは、水、マッチ、燃やすもの（暖をとるため）でした。非常のときはそこにあるものでいろいろと創意工夫をすることが大切なようです。

あらゆる物事にしても、また、人と人との関わりでそれぞれの心の治め方にしても、たくさんの人からいっぱい話を聞いておく。いろいろなことを知っておくことがまさかの時に大きな力になると思います。例え忘れていても、その時真剣に聞いておけば、まさかの時に思い出すのではないかと思います。小さい頃から大人になっても聞く事は人生をより豊かにするための栄養素になると思います。

～2月の予定～



1 日(日)	陽 平 例祭
5 日(木)	雲 陽 例祭
8 日(日)	青年会 ハートクリーンキャンペーン
10 日(火)	檜 岡 月次祭
15 日(日)	陽 平 月次祭 ・ 特別巡教
20 日(金)	雲 陽 月次祭
24 日(火)	大教会 月次祭
26 日(木)	おちば 月次祭 ・ 陽平 遥拝式
25～26 日	おちばがえり雲陽団体
28 日(木)	平田組 おつとめ勉強会
3 月 1 日	陽 平 春季霊祭

教祖 130 年祭 特別巡教

～三年千日の年祭活動、仕上げの旬～

陽平分教会 2月月次祭

2月15日 10時から

山陰大教会准役員

松岡 正明 先生

(京都府舞鶴市：龍海分教会長)

雲陽分教会 創立120周年
おちばがえり毎月団体

日程 2 月 25 日～26 日

団費 12,000 円

詳細・申込は、教会まで。

平田組おつとめ勉強会

日程:2 月 28 日

10 時から

会場:佐津分教会

参加御供:500 円

どなたでも参加できます

「春の学生おちばがえり」

～ 参加者募集のお知らせ ～

たくさんの学生たちがおちばに帰り集う春の一大イベント。USJにも行きます！

日時:3月27日～29日

対象:高校・大学・専門学校生

○ (新1年生も含みます)

別席(べっせき)の案内

別席は、「おさづけの理」を戴くために、おちば(奈良県天理市)で聴かせていただく親神様のお話です。

このお話を聴くことを「別席を運ぶ」と言います。満17歳以上ならだれでも運ぶことができます。

その順序としてはまず、「別席の誓い」をします。これは、しっかりとした心構えで別席に臨むことが肝心だからです。

別席では聞き落としや取り違いのないように、同じ理のお話を9回聴きます。

1席、2席と運ぶ中でこれまでの通り方を振り返り、お話の理によってだんだんと心を洗い立て、入れ替えるとともに、心に治まったところを身に行うことが大切です。

そして、9席目で満席となり、何よりも尊い天の与えである「おさづけの理」を戴きます。別席中に培った、人をたすけたいとの誠真実の心に、生涯の宝として「おさづけの理」が授けられるのです。

なお、別席を運ぶためには、事前に手続きが必要となります。詳しくは教会までお問い合わせ下さい。